

# Art at Tokyo Tech

## 2013 Autumn

10.15[Tue], 10.28[Mon.], 10.30[Wed.], 10.31[Thu.]

## Celebrating 90 years of the Bechstein Piano



諸石幸生



カール・シュルツェ



村上千佳



イヴ・アンリ



山野花穂



岸本史直



川村弥



三宅雅也



遠藤直輝



竹森那由多

Art at Tokyo Techをこれまで担ってきた東工大にある  
Bechsteinピアノが製造されて90年がたちました。  
そこで今年のArt at Tokyo Techはこれを記念して、  
ピアノの歴史と発展の講演会、演奏会をおこないます。  
19世紀から20世紀にかけての音を現代に甦らせる試  
みに是非ご参集ください。

### Autumn Bechstein Piano Week

|                          |                                                                                                                    |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◎10/15[火]<br>18:30-20:00 | 講演「日本のピアノ界の繁栄とそで中て失われたもの」<br>—音楽評論家：諸石幸生<br>講演「ドイツの中小企業のマネージメント—ピアノ製造、芸術、ピアノのような<br>手工業製品の原理—」—ベヒシュタイン社長：カール・シュルツェ |
| ◎10/28[月]<br>18:30-20:00 | 演奏会「20世紀の音楽—ピアノリスト：村上千佳<br>[予定曲目]M.ラヴェル：高雅で感傷的なワルツ<br>G.ガーシュウィン：ラブソング・ブルー<br>E.ワイルド：ガーシュウィンによる7つの超絶技巧練習曲           |
| ◎10/30[水]<br>14:00-19:00 | イヴ・アンリ教授の公開マスタークラスと演奏会<br>—山野花穂、岸本史直、川村弥、三宅雅也、遠藤直輝、竹森那由多                                                           |
| ◎10/31[木]<br>18:30-20:00 | イヴ・アンリ教授によるレクチャーコンサート<br>「ピアノの技術的進化と19世紀のピアノ作品との関係—シューベルト、ショ<br>パン、シューマン、リスト、ラフマニノフ、ドビュッシーおよびラヴェルの作品—」             |

【会場】東京工業大学岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール  
(東急大井町線/目黒線 大岡山駅下車徒歩3分)  
<http://www.titech.ac.jp/about/campus/index.html>  
【会場定員】280名[先着順、定員を超えた場合入場をお断りします] 開場は開演の30分前、入場無料  
【主催】東京工業大学  
(大学院社会理工学研究科、大学院イノベーションマネジメント研究科、教育工学開発センター、世界文明センター)  
【後援】蔵前工業会  
【問合せ先】東京工業大学大学院 社会理工等グループ  
Tel:03-5734-2107 Fax:03-5734-3748  
Email:art-jim@jim.titech.ac.jp  
URL:<http://www.dst.titech.ac.jp/event/art2013/index.html>  
※やむを得ぬ事情により、出演者、曲目、演題など変更となる場合がございます。予めご了承ください。

#### 諸石幸生

1948年生まれ。早稲田大学法学部卒業。(財)音楽鑑賞教育振興会で10年間、鑑賞指導法の研究・啓蒙・普及に努める。また『演奏家大事典』の編纂、『音楽通信』の刊行などを行うとともに、音楽評論家、ジャーナリストとしても活動、「名演奏ライブラリー」など放送番組の構成・解説も行っている。著書に「トスカニーニ」「クラシックが分かる超名盤」「クラシック新鮮組」など。

#### カール・シュルツェ

ベヒシュタイン社社長。1948年北ドイツ・オールデンブルクに生まれる。カール・シュルツェの祖父はピアノ製作に携わり、彼の父はピアノ店を経営していた。シュルツェ自身は、1972-1976年に大学で経済と法律を学び、ピアノ製造の見習社員を経て、「ピアノ製造マイスター」を取得した。彼はかつて第2次世界大戦前のヨーロッパで一番であったピアノ会社に就くよう、ベヒシュタイン社再建に努力を注いだ。ついにベヒシュタインは年間5000台を販売する大きなピアノ会社となり、世界中で大きなコンサートに参加したり、有名なピアニストのレコーディングに携わったり、2010年には中国・上海に駐在員事務所を設立し、新しい経済と文化の市場を展開し始めている。

#### 村上千佳

1987年パリ国立高等音楽院ピアノ科を審査員全員一致の一等賞を得て卒業後、ブローニュ・ビヤンクール国立音楽院室内楽科及び伴奏科を経て、パリ国立高等音楽院ピアノ科第3課程研究科を修了。マルサラ国際ピアノコンクール(イタリア)入選。マリア・カナルス国際コンクール(スペイン)ピアノ部門・名誉ディプロマ賞受賞。フランス国内をはじめ、ヨーロッパ各地で演奏後、'92年帰国。現在もソロ・伴奏・室内楽奏者として多方面にて活動。柔らかく繊細な美しい音で繰り広げられる、説得力に満ちた的確な語り口に定評がある。FM放送に出演の他、「レッスンの友」誌上にも執筆。現在、国立音楽大学非常勤講師。

#### イヴ・アンリ

ピアニスト、作曲家。1959年フランスのエブレー(フランス北西部)に生まれ。13歳の誕生日にはベルリンフィルハーモニーにて、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第1番を演奏するなど、神童ぶりを発揮する。故ビエール・サンカン氏、アルド・チッコリーニ氏のもとで研鑽を積み、ツウィックハウのシューマン国際コンクール第1位を含む多くの国際コンクールにて賞を得る。現在、パリ国立高等音楽院とパリ州立音楽院で教鞭をとり、ノアン・ショパンフェスティバル会長を務める。またアメリカ、日本および中国にマスタークラスや大学でのコンサートに定期的に招聘されている。2010年3月には日本ピアノ教育連盟研究大会の講師を務め、名誉会員となり、同年フランス文部省より「芸術と学問 騎士勲章」、またフランスのショパン・メーヤーの貢献をたたえて、ポーランドのグロリア・アルティスに授与された。

#### 山野花穂

東京工業大学工学部金属工学科2年。小学校1年から5年までピアノを習う。現在は、音楽サークル・プラタナスに所属し、すずかけ祭、工大祭等で演奏している。

#### 岸本史直

東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻修士1年。神奈川県立平塚江南高校吹奏楽部時代にオーボエを始める。久世武志氏にオーボエを師事。現在、TBSK管弦楽団・西湖ウインドシンフォニー団員。

#### 川村弥

東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻 赤木・藤田研究室博士課程1年。3歳からピアノを始める。第七回ヤングアーチストピアノコンクール・Cグループで入賞。また、高校からチェロを始め、2009年度には東工大管弦楽団の首席奏者を務めた。近年は木管楽器・弦楽器とのアンサンブルを中心とした演奏活動を行っている。

#### 三宅雅也

東京工業大学工学部高分子工学科3年。12歳よりフルートを始める。2013年度東京工業大学管弦楽団団長。他にもTBSK管弦楽団、Naniwoウインドオーケストラに所属。室内楽などにも精力的に取り組んでいる。現在、小野田裕子氏に師事。

#### 遠藤直輝

東京工業大学工学部制御システム工学科3年。5歳からピアノを始める。2002年ちば音楽コンクールB部門優秀賞、2007年ビティナ・ピアノコンペティションE級地区本選優秀賞を受賞。大学入学後にチェロを始めて、現在東京工業大学管弦楽団チェロ首席奏者。

#### 竹森那由多

東京工業大学理工学研究科物理物理学専攻博士課程1年。3歳からピアノをはじめ。1997年日本クラシック音楽コンクール 全国大会 審査員特別賞をはじめとして、様々な賞を受賞している。